



HPはこちら

はちおうじ NEWS

2021年6月16日 No.6

JR東日本労働組合

八王子地本 教宣部

私たち東日本ユニオンは 組合員の声をもとにした運動を進めています！



「コロナ禍における職場環境改善」と「企業活動」に関する申し入れを行いました

私たち東日本ユニオンは、コロナ禍および会社業績が悪化している現実の中、労働組合の責任として企業活動などに対するチェック機能の発揮をめざしています。そしていま、全組合員にご協力をいただいた「春闘アンケート」を通じて「赤字下における企業活動と会社施策に対して提言する取り組み」「コロナ禍における労働環境の問題を解決・提言する取り組み」を進めています。

八王子地本は6月16日、組合員の声をもとに要求をつくりだし、申第5号「コロナ禍における職場環境改善及び赤字下における企業内活動に関する申し入れ」を八王子支社に提出しました。

- ・委託先を含めて各職場にある洗面台の蛇口を自動化すること！
- ・コロナワクチン職域接種のスケジュールを明確にすること！
- ・中央線12両化工事における総事業費と収益見込みを明確にすること！ 等々

出向先、再雇用先の労働環境の改善を求めて団体交渉を行いました

JR東日本のグループ会社に出向している組合員から「働く環境が悪い」との声が八王子地本に寄せられました。調査を進めると①立川駅の遺失物取扱所では、お客さまの案内受付をしている横で食事している。②八王子駅車いす派遣隊では更衣室にベッドを入れて寝室と兼用としており、狭いだけでなくホームにあることから十分に休養がとれない。③1つのロッカーを2人で使用しており不衛生であることなどが分かりました。

八王子地本は改善を求めて申第3号を支社に提出し、5月21日に団体交渉を開催しました。支社は「現状で対応されたい」との回答に終始しましたが、組合側は「社会的にもソーシャルディスタンスの確保や換気の重要性が問われている」「職場環境に45億円も投資するのであれば、現場社員が必要としていることに投資すべきである」などを主張し、改善を強く求めました。最終的に「改善する」との回答は引き出せなかったものの、会社として現地の実態把握を行うことを確認しました。